

牧師 山本護 司式 斉藤美沙子 奏楽 花曲琴音

|      |               |      |                  |
|------|---------------|------|------------------|
| 前 奏  | 黙想            | 祈 禱  |                  |
| 讃美歌  | 25 よをもる月に     | 讃美歌  | 494 わが行くみち       |
| 祈 禱  |               | 献 金  |                  |
| 信仰告白 | 使徒信条 566      | 讃 詠  | 547 いまささぐるそなえものを |
| 聖 書  | 詩編 121:3~4    | 黙 禱  |                  |
|      | 使徒言行録 12:1~5  | 主の祈り | 564              |
| 讃美歌  | 301 山べにむかいてわれ | 讃 詠  | 546 聖なるかな、せいなるかな |
| 説 教  | 『ヤコブの死、ペトロの生』 | 祝 禱  | 後 奏              |

「ヘロデ王は教会のある人々に迫害の手を伸ばし、ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した(使徒 12:1~2)」。このヘロデは、イエス降誕時の治世者ヘロデ大王の息子。ステファノは民の私刑で殺されたが(7:60)、その後教会への迫害が高まり、公権力に殺されたのは重鎮の使徒ヤコブが最初。ヘロデは神のごとくにチヤホヤされることを好む(12:21~22)、民の人気取りで動くような(12:3)、残虐な小心者だった。

そんな人気取りのために、今度は使徒ペトロも殺されるどころだったが(12:4)、天使に助け出される(12:7~10)。素朴に、あれっどうしてか、と思う。なぜヤコブが殺され、ペトロは助かったのか。天使さま、しっかり働いて下さいよ。「ペトロは牢に入れられていた。教会では彼のために熱心な祈りが神にささげられていた(12:5)」。だから祈りが聞かれ、天使が動いたのか。そうではないだろう。ペトロが神の光の中で助けられたように、ヤコブもその光の中で死んだのか。何か理由づけが得たくとも、易々と答えられまい。私たちの日常においても、そのような不条理はいくらでもあるではないか。

パウロとシラスも投獄されひどく鞭打たれたが(16:23)、彼らは終夜、獄で讃美し祈っていた(16:25)。それに比べてペトロは「眠っていた(12:6)」。あの十字架前夜も、イエスに「祈っている(ルカ 22:40)」と促されながら、使徒らは「悲しみの果てに眠り込んでいた(22:45)」。ペトロは剛毅なようであり、どうも挫けやすい。こうした人物が教会指導者であるところが、聖霊に導かれている証しなのか。教会は、力あるカリスマ指導者に率いられる人間集団ではなく、祈りで結びついたキリストの体なのだ。

ヤコブは、ヘロデ的な邪悪さによって殺され(使徒 12:2)、ペトロも同じ邪悪な力に捕らえられ(12:4)、殺されようとしていた。「二本の鎖と二人の兵士」にガッチリ拘束され、ペトロは絶望し眠ってしまった(12:6)。言い換えてみれば、救いも、希望も、信仰も消え去り、光のない闇に閉じ込められた。

ペトロは闇に拘束されたが、「教会では彼のために熱心な祈りが神にささげられていた(12:5)」。私たちが無明の闇に陥っても兄弟姉妹に「祈られる」。二人か三人でも(マタイ 18:20)、私たちは祈られる。そして、たとえ教会の祈りまでもが眠りこけても、その無明に聖霊は吹き、目覚めさせる(使徒 12:7)。

「見よ、イスラエルを見守る方は、まどろむことなく、眠ることもない(詩編 121:4)」。だから私たちはここで、神に見守られて祈る。もしかすると「祈られる」ことの方が多いかもしれない。「どうか、主があなたを助けて、足がよろめかないようにし、まどろむことなく見守ってくださるように(121:3)」。

信仰によるものか、ペトロのように「うまくいった」事に注目が集まりがちだが、むしろヤコブのように「うまくいかなかった」事にこそ、信仰の奥行きがあるのではないかと、かねがね思っている。ヘロデ王は「ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した(使徒 12:2)」。あっさり控えめな記述だが、聖書はマイナスな出来事を隠さない。こうした不条理は実際いくらでもあり、何よりも十字架がそうであった。

戦争や飢餓、不慮の事故や病。私たちは前向きに生きようとするほどに、世の不条理との摩擦に苦しむ。だがこの現実の、不条理すべての奥に、十字架が建っていることを凝視してほしい。殺されたヤコブと共に、十字架のキリストがおられる。この事こそ、キリスト者の希望、真の安らぎなのだ。

祈りが聞かれた奇跡 そのまま驚き 心を振るわせればいい 祈りが聞かれないという表現はない  
もっと深く踏み込み 十字架に出会っているのか 現実の奥行き同様 一人ひとりに奥行きがある

9/17(土)1:30~メディカルカフェ開催。牧師の動き:9/14,山梨YMCAで聖書のお話し。教誨師をしている甲府刑務所では受刑者の4割強、職員の3割強がコロナに感染し、工場もすべて停止している。

礼拝堂・集会所の住所:408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ:408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。